

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 本年からホームを会場にして「認知症カフェ」を開き、「認知症サポーター養成講座」とあわせ、地域の交流の輪を広げるよう取り組んでいる。また、地域ボランティアの活用でも、地域の人との交流を図っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、地域、行政の参加を得て、年6回の会議を開催している。会議は運営報告に加え、看取りの振り返り、認知症サポーター養成講座の実施報告等、具体的な意見交換の場として活用がある。頂いた提案や助言は、ホームの運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ホームの運営推進会議には毎回の出席が得られ、意見交換の機会となっている。また、ホームから行政を訪問し、運営に関する報告・相談を行い、適切な助言と指導を仰ぎ、運営に反映させている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム便りの送付、お便りの送付の他、来訪時には介護記録を提示して本人の様子や状態を説明している。家族の心配事には認知症の専門家としての情報を提供するなど、家族の気持ちに充分に応え、厚い信頼関係を築き、忌憚なく意見を言い合える関係がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○				